

# 腫瘍マーカー検査

検査項目	検査説明
CEA	大腸がん、胃がんなどの消化器系がんや、肺がん、乳がんなどで高値を示します。 慢性肝炎や肝硬変、糖尿病、甲状腺機能低下、喫煙などで高値を示すことがあります。
AFP	肝細胞がんにも有用です。 肝硬変や肝炎などのがん以外の肝臓疾患でも高値を示すことがあります。
PSA	前立腺に特異的にみられる腫瘍マーカーで、前立腺がんにも有用です。 がん以外の疾患では、前立腺肥大症で高値を示すことがあります。
CA125	卵巣がん子宮体がんにも有用な腫瘍マーカーです。 子宮内膜症や子宮筋腫、良性卵巣腫瘍などの婦人科疾患によっても高値を示すことがあります。 また、女性ホルモンのエストロゲンによって生成が促進されるため、月経時に上昇する性質も持っています。
CA19-9	消化器がんの中でも、とくに膵臓・胆のう・胆管にも有用な腫瘍マーカーです。 膵炎、胆石症などのがん以外の消化器系疾患でも高値を示すことがあります。

腫瘍マーカーの結果が高値であるからといって、がんであるとは判断できません。あくまで、がんかどうかの可能性を判断する目安のひとつです。  
腫瘍マーカーの値が高い場合は、超音波検査やCT、MRIなどの画像検査、その他の検査による精密検査を受けるようにしてください。